科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
110022	XXX1110022	2	前期	国際学部国際文化学科	基礎	選択	1年
				国際学部国際文化学科英語集中コース	基礎	選択	1年
授業科目	担当教員			情報文化学部情報文化学科	基礎	選択	2年
言語学	三ツ井　正孝			情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降)	基礎	選択	1年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降)	基礎	選択	1年
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度)	基礎	選択	2年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度)	基礎	選択	2年
				情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	基礎	選択	2年

授業目的

言語学―我々が日々用いていることばがもつありのままの姿を見つめ，その背後にある仕組みをうかび上がらせることを目的とする学問分野―の基本，すなわち，言語学上重要な概念と，その概念を用いて言語を分析する際の基本的な方法を学ぶ。

なおこの授業は，「グローバルな課題に批判的な問題意識と建設的な眼差しをもって向きあう実践的な態度を獲得し、国境を超えた個別具体の問題への認識を深める国際教養および研究手法を体得していること」「仕事の仕組みをシステム的に考え、データを重視した論理的な判断ができること」のための科目のひとつとなる。また，「グローバルなネットワーク社会で活躍するための、国際理解とコミュニケーションに必要な英語力の基礎があること」「高度な語学運用力をもって異文化理解の精神を研ぎ澄まし、国際社会なる多文化状況にあってポジティブに協調的にネットワークを拡張していく意欲と能力を身につけていること」に対しても有効である。

各回毎の授業内容

第１回
【授】イントロダクション
今年度の授業方針について説明する。
【前・後】復習に２時間。内容については授業時に指示する。

第２回
【授】言語とは：ミツバチの「ことば」も言葉？
動物の「言葉」と人間の言語との違いを考える。

【前・後】予習復習に４時間。内容については授業時に指示する。

第３回
【授】言語学とは：言葉にはいくつかのカオがある。
言語および言語学の諸側面を紹介する。
【前・後】予習復習に４時間。内容については授業時に指示する。

第４回
【授】世界の言語：日本語の「名前」は英語で「name」。音も発音も似てるけど……。
世界の言語はどのような「仲間」に分けられるのかという点を考える。
【前・後】予習復習に４時間。内容については授業時に指示する。

第５回
【授】音の問題（１）：「さんまい（３枚）」と「さんかい（３回）」，ふたつの「ん」は発音が違う！
「音声学」の基本的な考え方を学ぶ。
【前・後】予習復習に５時間。内容については授業時に指示する。

第６回
【授】音の問題（２）：そうはいっても，「ん」は「ん」。
「音韻論」の基本的な考え方を学ぶ。
【前・後】予習復習に４時間。内容については授業時に指示する。

第７回
【授】語の問題（１）：「本」は１語。「箱」も１語。だったら，「本箱」は２語？
「形態論」の基本的な考え方を学ぶ。

【前・後】予習復習に４時間。内容については授業時に指示する。

第８回
【授】語の問題（２）：「NASA」「UNESCO」「NUIS」，共通点は何？
前回の内容をふまえ，語構成や語の生産の問題を学ぶ。
【前・後】予習復習に４時間。内容については授業時に指示する。

第９回
【授】意味の問題（１）：「上がる」の意味を聞かれたら？　「上へ行く」？　では「登る」は？
「意味論」の基本的な方法を学ぶ。
【前・後】予習復習に４時間。内容については授業時に指示する。

第１０回
【授】意味の問題（２）：単語にも「ネットワーク」がある！
前回の内容をふまえ，様々な意味的関係，および，意味論の研究方法を学ぶ。
【前・後】予習復習に４時間。内容については授業時に指示する。

第１１回
【授】文法の問題（１）：「品詞」「活用」「５文型」だけが文法じゃない！
さまざまな「文法論」の側面を学ぶ。
【前・後】予習復習に４時間。内容については授業時に指示する。

第１２回
【授】文法の問題（２）：「殴られだろうた」ってどうして言わないの？
前回の内容をふまえ，文の構造の問題を考える。
【前・後】予習復習に４時間。内容については授業時に指示する。

第１３回
【授】文をこえた文法：「この部屋暑いね」「そうだね」「……それだけ？」
「語用論」の基本的な考え方を学ぶ。
【前・後】予習復習に４時間。内容については授業時に指示する。

第１４回
【授】言語と社会：「俺が読むよ。」「私が読むわ。」「おらが読むだ。」「いや，わしが読むのじゃ！」
「社会言語学」の基本的な考え方を学ぶ。
【前・後】予習復習に４時間。内容については授業時に指示する。

第１５回
【授】まとめ：いざ，ことばの海へ。
今年度の内容をまとめ，さらに考えるべき問題について紹介する。
【前・後】予習復習に５時間。内容については授業時に指示する。

第１６回
【授】試験

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							80
小テスト・授業内レポート							10
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							10
成果発表（口頭・実技）							
演習							
その他							

定期試験の講評を行う。

教科書参考書

斉藤純夫著　『言語学入門』（三省堂）

受講に当たっての留意事項

データは基本的に日本語。したがって，受講するにあたって外国語に堪能である必要はない。むしろ，日本語に対して敏感であって欲しい。ただし，「言葉の乱れ」や「美的な言葉」に敏感であれと言うのではない。この講義は「言葉の乱れ」の矯正や「美的センスのある言い回し」の習得を目的にはしていない。一方で，「言葉は生きているのだから変わるのは当然」というステレオタイプなものの見方もしない。この表現は思考停止でしかない。

日本語に敏感であれ，というのは，「言葉の乱れ」や何の変哲もない日常の表現にひそむシステムを見出せる，「言葉は生きているというのなら，どのように生きているのか」を問える，そのような態度であれ，ということである。

「授業目的」のとおり，この授業の（そして言語学の）目的は，言葉がもつありのままの姿を見つめ，その背後にある仕組みをうかび上がらせることにある。この点を十分に念頭に置いておいてほしい。

学習到達目標

言語学の基本的な考え方を理解し，基礎的な知識を習得すること。さらに，実際の言語分析に応用できること。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習